

長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園の
指定管理者の指定について

1. 選定経過

- (1) 第1回指定管理者審査選定委員会 令和4年7月27日
 - ア 長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園の指定管理者候補者の選定方法について
 - イ 長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園の指定管理者の募集要項及び仕様書について
 - ウ 長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園の指定管理者の審査方法について
- (2) 申請書の受理 令和4年9月9日
- (3) 第2回指定管理者審査選定委員会 令和4年10月17日
長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園の指定管理者候補者の審査・選定について
- (4) 審査結果について
プレゼンテーション及び応募資料について審査した結果、次の理由により「横浜植木株式会社」を指定管理者の最適な候補者として選定（選定理由）
提案された事業計画により、
 - ア 緑の基本計画及び藤沢市生物多様性地域戦略の趣旨を踏まえた事業展開が期待できること
 - イ 協働やボランティアの推進等、市民参加による緑及び生物多様性の普及促進が期待できること
 - ウ 豊かな自然環境を生かした緑及び生物多様性の普及促進が期待できること
 - エ 生物多様性に関するマルチパートナーシップの促進が期待できること
 - オ 両公園の特性を生かした施設の有効活用が期待できること
 - カ 両公園で連携した事業展開が期待できること

以上の理由と合わせ、事業計画や収支計画、実績など総合的に審査採点した結果一定の評価を得たことから候補者として決定した
評価点1, 029点（1, 400満点）

2. 審査基準

- I - 1 (1) 指定管理者制度への理解
(2) 管理運営の基本方針
- I - 2 (1) 団体の適性
(2) 財務面の健全性・安定性
(3) 管理運営実績
- I - 3 (1) 法令遵守の取組
- II - 1 (1) 施設利用の促進
(2) サービスの向上
(3) 平等な利用の確保
(4) 利用者意見等の把握
- II - 2 (1) 施設・設備の維持管理
- II - 3 (1) 防犯対策
(2) 防災対策
(3) 緊急時の対応
- II - 4 (1) 人員体制
(2) 収支予算書
(3) 効率的な運営
- II - 5 (1) 生物多様性地域戦略への理解
(2) 緑の基本計画への理解
(3) 情報の管理体制
(4) SDGs・環境配慮・人権擁護
(5) 暴力団排除への対策
(6) 市内業者の活用
- II - 6 (1) 市民及び関係団体等との協働管理
(2) 生物多様性及び緑の普及啓発推進
(3) 生物多様性に関するマルチパートナーシップの構築
(4) 自主事業の推進
- III - 1 (1) 業務要求水準との適合性
(2) 特色ある提案
(3) 提案の実現性

3. 事業計画の概要

「長久保公園（長久保公園都市緑化植物園）及び遠藤笹窪谷公園事業計画書（概要版）」のとおり

長久保公園（長久保公園都市緑化植物園） 及び 遠藤笹窪谷公園

事業計画書(概要版)



令和4年10月

横浜植木株式会社

■施設の設置目的の理解

「藤沢市緑の基本計画」や「藤沢市生物多様性地域戦略」等を受け、今回の指定管理業務は、緑の普及啓発や生物多様性の重要性を多くの市民に伝え、「持続可能な社会の形成に貢献する拠点となる」という大きなテーマを伴っています。

長久保公園は都市の緑化推進の拠点として設置され、緑の相談機能、研修機能、展示機能、学習機能、レクリエーション機能、交流機能を持っています。これに加えて、新たに生物多様性に関する「情報集約・発信・展示・研修・学習・交流などの機能」は、緑を含む自然環境の情報発信源(生物多様性センター)となります。

遠藤笹窪谷公園は、「藤沢市緑の基本計画」における三大谷戸保全リーディングプロジェクトの1つである遠藤笹窪谷の谷戸底部に開園した公園です。公園を含む谷戸を既存の市民団体と協働し自然環境を保全するとともに、公園内の菖蒲田、水田等の育成・管理を市民ボランティア団体と協働で行います。また、長久保公園と連携して研修機能、学習機能、体験機能を整備し、生物多様性サテライトセンターとなります。

「藤沢市緑の基本計画」では「湘南のみどりと共にくらすまち・ふじさわ」を目指し、基本理念として、緑を、保全(まもる)、創造(ふやす)、連携(つなぐ)、普及(ひろめる)、共生(くらす)が掲げられています。

「藤沢市生物多様性地域戦略」では、「生きものの恵みを感じるまち藤沢」を目指し、生物多様性を守る・創る、暮らしや活動のなかで生物多様性に取り組む、産業経済活動のなかで生物多様性に取り組む、生物多様性と子どもたちの関わりを増やすことがテーマとされています。特に「生物多様性の重要さの認識不足」が課題とされ、「啓発」によって、関心・認識を高めていくことが示されました。

こうした施設の設置目的と「緑の基本計画」「生物多様性地域戦略」の狙いを踏まえ、生物多様性の普及啓発と地域活性化を軸に、利用者や地域に信頼され、活動の輪が大きくなっていく施設の管理運営を行っていくことが今回の指定管理の目的です。

指定管理業務の主体は「ひと」であり、行っている業務が利用者や地域から信用され、来園者や市民参加、地域協働の数が増えていかなければ、その仕事は正しい方向に進んでいるとは言えません。長久保公園では既存の来園者や研修参加者のほかに、新たな公園利用層、活動層を増やす取り組みを打ち出し、市民参加・協働の機会を増加させます。また、積極的に地域と関り公園との繋がりを増やすことが重要で、特に遠藤笹窪谷公園は、周辺を含む既存活動団体が、より個性を活かした活動を増していけるように、活動趣旨をしっかりと理解しつつサポートを行い、団体同士の相互理解と参加者や活動の輪が広がっていくように運営します。また、将来的な都市計画が示されていることから、自然の保全と地域の発展という両立の難しいテーマに指定管理者として挑戦します。



■基本理念と基本方針（ミッション）



前述の「藤沢市緑の基本計画」や「藤沢市生物多様性地域戦略」等や、施設の設置目的を踏まえ、基本理念と基本方針(ミッション)を定義します。

【基本理念】

【緑と生きものの恵みと共生する、心豊かな公園づくり】

緑と生物多様性の情報発信基地となり、情報集約・発信・展示・研修・学習・交流などを行い、緑と生きものの恵みを伝えます。市民団体との協働、子どもたちとの関わりを増やし、生きものと人の共生の場をつくります。これら生物多様性の普及啓発と地域活性化を軸に、利用者や地域に信頼され、活動の輪が大きくなっていく拠点施設の管理運営を行います。

【基本方針(ミッション)】

【自然を守る】

- ✓ 多様な生きものが生息する緑の保全

既存の市民団体活動と協働し、自然環境の保全を行います。若手ボランティアの募集や協議会運営など、活動の活性化に向けた支援も並行して行います。研究機関等とも連携し、生きものの生育状態や種類の調査も定期的を実施し、生態の状態を把握します。管理エリアにおいては、生物の生息空間を守るための監視・観察や清掃、植物の健全な成長のための手入れなどの植物の育成や管理業務を行います。

【生物多様性をひろめる】

✓ 緑と生きものの魅力やすばらしさの普及・啓発

生物多様性に関する「情報集約・発信・展示・研修・学習・交流などの機能」となり、緑を含む自然環境の情報発信源となります。

研修や体験企画はもとより、パンフレットの作成配布、アンケートの実施なども行いますが、まずは、「生物多様性」に関する興味関心を持っていただく取り組みを数多く行っていくことが、指定管理者の主たる仕事であり、使命でもあると考えています。

公園施設の樹木の整理や展示で工夫したり、環境を美化させることで、最初の間口を広げていく活動を数多く企画しています。

また、既存の利用者が、新規利用者を連れてきてくれるような新たな見どころや仕掛け、興味関心がわく連続シリーズの講習で、緑や自然に対する知識や技術・スキルが身につくような取り組みを行います。大人になっても最近では自らの知的好奇心を満たす喜びをお持ちの方が増えています。緑や自然は人に心身ともに安らぎを与える効果を持っており、知的向上も併せて行うことができれば、非常に魅力の高い分野となるでしょう。生活と自然が合いまった「生物多様性」の理解が、暮らしの一部に取り込まれることで、大きな成長となります。こうした「日常に公園のある生活」をカルチャーとし習慣化できれば「生物多様性」を自分のこととして考えることができる人がたくさん育っていくものと考えています。

生物多様性の世界を知る優れた活動が養蜂です。生物の連鎖を知るとともに、その成果品であるハチミツを地元の商品の原材料として使って頂くことで地域おこしにもつながります。当団体は多くの公園管理の経験と民間企業のノウハウとを融合して、産業経済活動にも環境活動にもメリットのある活動を提案します。

【人がつながる】

✓ 市民協働・地域貢献等推進

指定管理の施設維持・管理業務の主体は「ひと」です。利用者や地域に信頼され、その結果として団体同士の相互理解が進み、参加者や活動の輪が広がっていくことを目指し、地域や利害関係者との丁寧なコミュニケーションを行います。



研修会やボランティア活動の募集等により、新規公園利用層、活動層を増やしていく取り組みを行い、市民参加、市民協働の機会を大幅に増加させます。公園内の菖蒲田、水田等の育成・管理を市民ボランティア団体と協働で運営します。



地域協働 花壇づくり

✓ 守り伝える次世代の育成

子どもたちに興味関心を持っていただく取り組みや施策は当団体が最も得意とする部分の一つです。

世代を繋いで公園を訪れる機会をつくる取り組みや、大人が子どものためにできることを数多く提示するなど、公園での活動が自身の生きがいや社会参加の機会となり、価値ある時間を過ごせるよう子どもを中心とした数多くの施策を実施します。その参加者、活動者がスキルアップできるように、多様な主体間の交流を通じて「守り・伝える人」を育て、公園と自然、人が結びついた美しく豊かな生活環境を提供することが当団体の使命だと考えています。



農園付き公園 収穫体験

【合理的・効果的な管理運営によるコスト低減】

生物多様性の取組では、現地調査やフィールドワークなど、多くの実作業が行われます。合理的・効果的に管理運営を行っていくためには、正しい手段や管理手法を明確化して実施し、一つ一つの仕事が有効に機能して、成果に結びつく仕組みを構築することが非常に重要です。また、これらの作業には数多くの人手が必要であり、無償で協力してくれるボランティアの募集と活用がコスト削減の絶対の条件となります。この生物多様性の取り組みの活動が魅力あるものでなければ人は力を貸してくれません。興味関心を持ち、楽しみや喜びをもって参加できるように、明確な目標や手法を提示して一人一人が活躍するイメージを持てるように参加者募集を行います。また、組織した後の運営も様々な形で要望をくみ上げながら、イノベーションすることが大事で、未永く市民ボランティアの活動が発展していく取り組みを行います。



■ 市民及び関係団体等との協働管理

【当団体の考える市民協働の位置づけ】

当団体は、指定管理事業を始めた当初から一貫して、「地域団体との協働」を公園運営の重要項目として取り組んできました。公園や地域の課題について、公園内外合わせて「一緒になって考え行動すること」、これが、当団体が行ってきた地域協働の姿勢です。また、施設の継続的な保全・活用・発展には、市民に愛され、市民の生きがいや拠り所となる活動が必要不可欠であると考えています。そして活動の活性化は、次世代の担い手づくりへと繋がります。指定管理者は、市民活動を支え、施設が良好な状態で次世代へ引き継がれる助力をする責務があると考えています。

両公園には既に市民活動があり、今回の指定管理期間が、新たに生物多様性センターとしての機能が追加され、サテライトセンターと連携した新しい公園運営を目指すにあたり、重要なタイミングである事を認識し、市民協働の推進に取り組みます。

【複数の既存活動団体との関係性の構築】

仕事ではなくボランティアとして活動をされている団体には各々確固たる活動理念があります。時として、理念が異なる団体同士の折り合いが困難な場面があります。よくある事例として、草の刈り方、刈る時期等の意見の相違があります。また、公園の美観維持か生態系保全か、目的が異なる場合も、意見の相違が発生します。公園の市民協働において、こうした部分の丁寧な環境整備が最も大切な業務です。複数の既存活動団体に耳を傾け、真摯に対応し、コミュニケーションを図り、信頼関係を築いていきます。特に、遠藤笹窪谷公園は新設公園であり、既存の活動団体との関係性の構築に注力します。

■ 健康の森管理運営協議会

遠藤笹窪谷公園周辺一帯では「NPO藤沢サンクチュアリ」、「NPO里地里山景観と農業の再生プロジェクト」、「藤沢遠藤生態系保全の会」、「里地里山景観と農業の再生プロジェクト」等の地元団体が長年、活動を続けています。これまでの活動と経験を尊重するとともに、協議会運営に長けた中間支援組織、研究機関との連携による既存団体活動に配慮した健康の森管理運営協議会の推進を行います。協議会では団体間の活動の整合や、活動の方向付け等をしていきます。また高齢化が課題となっている団体への新たな若手ボランティアの募集・参加による活動の活性化などを行います。

★協議会運営実績

本牧山頂公園では複数活動団体、地区センター、まちづくり協議会等を交えて、協議会を運営し、当団体は事務局として連携を図り、公園運営に反映しています。



■既存の活動団体

藤沢市では自然環境に関する市民活動が活発に行われています。長久保公園においても、現在活動している緑化愛好団体や緑化ボランティア団体による展示やイベント行事は来園者にとっての楽しみの一つとなっています。既存の活動団体との関係性は維持し、公園運営の継続性を確保します。

【藤沢グリーンスタッフの会】

特に、「藤沢グリーンスタッフの会（FGS）」は、研修会や里山ボランティア講座、年2回のお祭りなどを開催している団体です。会員数も多く、多様なスキルを持った団体で、地域の人材が集まっています。FGSとは今後の連携についての了承を得ており、活動の場として公園を積極的に活用していきたいと考えています。

【予定連携事業】

- ・研修会等の開催の継続、強化
- ・自然環境調査(植物、昆虫、野鳥ほか)
- ・里山管理及び里山保全ボランティア養成講座の運営
- ・ビオトープ管理
- ・お祭りの協催
- ・緑の相談員

■担い手づくり

市民活動の活性拡大のため、参加者を広く募ります。活動に参加し、公園運営に関わる人を増やす事で、公園のファンを増やし、公園に賑わいを創ります。活動の継承には新たな人材の発掘と充実を図る必要があります。常に窓口を開けて、初心者や子ども達にも参加しやすい環境を整えます。

【公園サポーターズ制度】

- ・花植え、清掃、イベント開催の補助、自主事業講師の補助など、多方面に公園運営に関わるサポーターを募集します。登録制とし、育成、交流、裾野拡大を図ります。特に子ども達に対しては、未来に担い手として、楽しい公園の思い出を持って大人に成長し、将来、また公園運営に関わってくれる事を期待しています。

【いつでも除草大歓迎】

- ・除草作業は造園業では仕事であり、お庭を持つ人にとってはやらねばならぬ肉体労働ですが、土に触れ合えない生活環境の方にとって、除草を好んでやりたい作業と考える方もいます。広い公園管理では人力による除草作業は終わりなく、尽きる事はありません。公園サポーターズに登録せずとも気軽に参加できる窓口にて、除草ボランティアを常時歓迎します。

★市民協働事業実績



↑当団体管理全ての指定管理公園で花壇の協働管理をしています。幼稚園など子ども向けや、植物好きの大人向けなど、地域に合うプログラムで展開しています。

【考え方】

当団体は、今回の指定管理業務において、生物多様性の普及啓発推進を**最も重要な事業**として捉えています。この取組によって、自然の恵み、つながり、共生を考えるきっかけとなるよう、当団体ならではの取組によって、長久保公園、遠藤笹窪谷公園を生物多様性センターとして機能するよう、普及啓発事業を積極的に進めます。

【四つの柱】

①【指標生物の調査】

「指標生物の調査」は、藤沢市の生物多様性の動向を把握するため、多くの市民に調査に参加していただき、生物多様性への関心を持っていただきます。調査の内容は、各環境を代表する指標種の中で比較的識別しやすい種を対象とします。また、侵略的な外来種についても必要に応じて対象とし、動向の把握、防除に役立てます。調査結果は分布図としてまとめます。



★生きもの調査実績

当団体は「横浜にとんぼを育てる会」の活動を、発足当時から支援してきました。この会ではトンボを指標生物として調査を行い、自然の復元再生、青少年の情操教育、環境保全・復元の活動を行っています。トンボの調査は子ども達と一緒に行うイベントも兼ねて行っています。

本牧山頂公園では、チョウを指標生物として、生きもの調査を行っています。山頂散歩として来園者と散策しながら調査を行っています。

②【チョウの保全】

生物多様性の危機の原因の一つに開発があげられていますが、経済的な発展のためには必要なことでもあります。開発により、生物多様性が損なわれた場所での共生、緑化の取り組みとして、「チョウの保全」を行います。環境省の実施しているモニタリング1000里地里山では、身近なチョウ類が希少種レベルの減少をしていることがわかっています。まず、長久保の公園内で実施し、街中の学校や企業、公園、住宅などに、成虫の吸蜜植物、幼虫の食草を増やすことにより、チョウの種類、個体数の増加をはかり、藤沢市をチョウの舞う街としていきます。



③【養蜂の導入】

長久保公園で養蜂を導入します。ミツバチの観察会、はちみつしぼり体験でミツバチについて興味を持っていただくとともに、生態系のなかでは虫媒花の送粉を行っており、大切な役割を担っていること、生態系のつながりは食べる、食べられるだけではなく、様々な関係で成り立っていること、また、農業生産にも必要な存在であり、農薬等でこれらの昆虫がいなくなると、農作物の多くが生産できなくなること（生態系サービス）について座学で学びます。当団体管理公園で実施している事業であり、子ども達が体験する生物多様性の世界として、養蜂は優れた取り組みです。



★養蜂実績

本牧山頂公園で採れる蜂蜜は、公園の花からできる百花蜜です。加糖調整されていない、やさしい味がします。蜂の活躍で地域の植生が味となって体感できます。蜂蜜入りクッキーなど商品展開もしています。

④【里山の再生】

遠藤笹窪谷は里山として、人の生活の中で守られてきた自然です。「里山の再生」のため、現在活動されている市民団体と専門家も交えて目標とする自然環境、それに向けた里山管理の計画を慎重に同意を得ながら作成し、管理の実施、モニタリングを行い、順応的な管理を実施します。里山の恵みの利用もワークショップ、収穫祭などを通じて市民に還元していきます。また、里山での循環を通じて持続可能な生活について考えるきっかけとします。さらに、新たなボランティアの参加を促進するため、里山保全ボランティア養成講座を実施します。遠藤笹窪谷での活動にあたっては、オオタカの繁殖期に影響を及ぼす行為は避ける、営巣中心域には立ち入らないなどの配慮をします。



■ 生物多様性センター及び生物多様性サテライトセンターの主な取り組み内容

生物多様性センター

常設・企画展示

- ・ 園内の動植物
- ・ 生物多様性について
- ・ 生物多様性を守るためにできること
- ・ 藤沢市自然環境調査でわかった事

自然観察会・イベント

- ・ 園内動植物を対象とした観察会
- ・ チョウの棲む環境づくり
- ・ 市民参加によるいきもの地図作り
- ・ ミツバチの飼育、見学会
- ・ 動物・植物写真コンテスト

講習会

- ・ チョウの生息環境に配慮した緑化
- ・ ミツバチの役割（共生、生態系サービス）
- ・ ECO-DDR（防災、減災）

ビオトープ

- ・ チョウやトンボに配慮した環境作り
- ・ ビオトープのモニタリング調査

協働の推進

- ・ 保全活動団体との協働
- ・ ボランティア団体との連携

その他

- ・ HP での園内植物の図鑑作成
- ・ 植物名板の設置
- ・ オンライン植物園
- ・ デジタルサイネージの設置

生物多様性サテライトセンター

常設・企画展示

- ・ 遠藤笹窪谷の動植物
- ・ 里山の自然と人のかかわり
- ・ 里山の循環
- ・ 市民団体の活動内容

自然観察会・イベント

- ・ 園内動植物を対象とした観察会
- ・ 指標種、重要種を対象とした観察会
- ・ 田植え～稲刈り体験会
- ・ 五感で楽しもう
- ・ 衣食住に関わる手仕事体験

講習会

- ・ 里山ボランティア育成講座

ビオトープ

- ・ チョウやトンボに配慮した環境作り
- ・ ビオトープのモニタリング調査

協働の推進

- ・ 保全活動団体との協働
- ・ ボランティア団体との連携

その他

- ・ HP での植物紹介
- ・ 植物名板の設置
- ・ ニホンミツバチを対象とした養蜂の施行

■緑の普及啓発

【考え方】

緑化の普及啓発の推進につながる事業として行ってきた緑化講習会、みどりの展示会を継続・強化、また新規事業を実施いたします。

緑化講習会、みどりの展示会のそれぞれにおいて、事業の継続性を考慮し、これまで市民団体等が行っていた講座や展示会の継続に向けて関連団体との調整を行います（緑化講習会の54%（47件）、展示会の70%（27件）が該当（2021年実績より））。上記該当以外の事業については、新たに当団体の各部門の専門家や当団体が管理している農園付き公園の指導者、また当団体との関連のある市民団体と協議の上、実施したいと考えます。

さらに生物多様性地域戦略および生物多様性実行プランに基づき、生物多様性に関する講習会や展示を加えて、普及啓発活動の強化をします。

緑化講習会

植物栽培

- ・種からの植物栽培
- ・花いっぱい花壇作り
- ・バラの育て方
- ・ハーブ講習会
- ・菊の講習会
- ・シクラメン栽培

農芸

- ・家庭菜園の基礎
- ・果樹栽培（ぶどう、メロン）

植栽管理

- ・庭木の手入れ
- ・マツの手入れ
- ・芝生講習会

盆栽

- ・盆栽講習会
- ・正月花アレンジメント講習

クラフト

- ・子どもの夏休みクラフト作り
- ・フラワーアレンジメント
- ・クリスマスリース作り
- ・木の実のキャンドル立て作り

みどりの展示会

写真展

- ・植物紹介パネル展示
- ・花の写真展
- ・カワセミ写真展

野草

- ・苔玉展
- ・秋の山草展
- ・雪割草展

さつき・菊

- ・花季会
- ・優秀作品展
- ・菊花会

盆栽

- ・盆栽展

その他

- ・ボタニカルアート展
- ・秋の押し花美術展

■DXの取り組み

【考え方】

利用者と植物園の接点を、従来の「足を運ぶ来園」だけでなく「オンラインでの来園」にも広げる取組をします。単なる機械化・IT化に留まらないよう、新しい利用者ニーズを創造し、いつでも誰でも利用できる、人に優しい公園づくりを目指します。

①オンライン植物園

温室内にカメラやタブレット等の映像通信機器を設置し、植物の生育状況をライブ配信もしくは動画配信出来るような環境を整えます。

遠方や身体的事情等様々な理由で来園できない方々への利用を促進し、またリピーターの方やお気に入りの植物がある利用者には好きなタイミングでその様子を配信していきます。さらに、植物の生育状況を定点観測することで、普段見ることが出来ない時間帯の姿や成長の様子も伝えられ、生物多様性への関心と理解・学習の機会を提供します。



レタスのタイムラプス映像（日中は葉が開き、夜は丸く閉じる動きをします）

②植物種名板とHPの植物図鑑のリンク

HP上に園内植物の花や葉、実などの写真、開花時期、特徴、栽培方法等を種別にまとめた図鑑を作成します。園内の植物には植物名とHPの植物図鑑とリンクするバーコードを掲示することにより、来園者がスマホをかざすことで植物の情報を見ることができるようになります。



梅の品種ごとにQRコード付き樹名板を設置し、特設ページ（品種の解説）へ誘導（実績）↑

③SNS、HPを活用した情報発信

イベント、企画展、観察会などのお知らせのほか、開花状況、野鳥、昆虫など生きものの情報をSNS、HPを活用して発信します。

④デジタルサイネージの設置

タッチパネル式のインフォメーションモニターにより、園内のマップや施設の案内、開花情報等を案内します。



⑤ベジチェックの設置

野菜摂取の充足度が簡単に確認できる「ベジチェック」を設置します。野菜への興味関心や、来園者の健康増進、そのきっかけとなる機会を「見える化」して提供します。



■ 生物多様性に関するマルチパートナーシップの構築

マルチパートナーシップとは、多様な主体が市民生活における暮らしやすさや藤沢への誇りなどの目標を共有し、役割を分かち合いながら、連携してまちづくりを進めていく協力関係です。今回の指定管理事業は、公園の運営に留まらず、生物多様性のネットワークによる藤沢市のまちづくりに貢献できる大切な事業となっています。多面的な業務を遂行するためには、指定管理者だけでは成立せず、関連者とコンタクトを取り、円滑なコミュニケーションにより、大きなマルチパートナーシップを構築します。

■ 研究機関

生物多様性地域戦略を基軸に公園運営を行うにあたり、確かな知見に則って進めるには研究機関との連携は欠かせません。藤沢市を研究フィールドに扱っている研究機関とは積極的に情報交換や助言をいただけるよう、関係性を構築します。

【日本大学との連携】

- ・日本大学生物資源科学部くらしの生物学科から、大学生なども若い世代も参画できる生物多様性実行プランの進め方についての助言をいただき、関係を構築します。
- ・「生物多様性藤沢地域戦略策定検討委員会」の検討事項や環境調査等の現地実行についての助言もいただき、効果的・効率的に進めていきます。
- ・調査活動を通じた地域と学生との交流により、公園利用促進・生物多様性保全に関わる提案の拡大、市民団体との交流の機会等を設けます。

■藤沢市

藤沢市とは、公園運営の共通のゴールを見据えて進められるよう、強固な信頼関係を構築する事は勿論、公園運営を通じて、まちの活性化にも貢献できるよう、あらゆる市の施策に協力します。

【ONSEN・ガストロノミーウォーキングin藤沢】

- ・藤沢市の市の活性化テーマの1つに藤沢西北地区の農業基盤整備を中心としたまちづくりの魅力の発見があります。その魅力を伝える活動の一つに、民間企業を含めマルチパートナーシップで進めている「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin藤沢」があります。この活動を遠藤・御所見地区での生物多様性実行プランにおける「①生物多様性を基盤とした観光魅力の発掘」と位置づけ、遠藤笹窪谷公園の指定管理者として活動に協力、支援し、マルチパートナーシップ活動を進めていきます。



小出川



■マルチパートナー

現在コンタクトをとっているマルチパートナーは以下になります。

分類	団体
研究機関	日本大学 生物資源科学部くらしの生物学科
NPO	ドリームエッグ
市民団体	藤沢グリーンスタッフの会
	藤沢サンクチュアリ
	里地里山景観と農業の再生プロジェクト (藤沢えびね・やまゆり園)
	藤沢遠藤生態系保全の会

■当団体の特色を生かした事業提案

【野菜青果物の販売】

【公園野菜市 ～やさいのなまえ～】

場所：長久保公園みどりの相談所及びその周辺

時期・頻度：月1～2回程度

- 「朝市」は地域住民の楽しみとして人気が高いコンテンツです。近隣でも開催されていますが、当団体が公園で開催する野菜市では、「野菜の品種」にこだわった野菜市を運営します。
- メロンでは「クインシー」や「アールス」など品種の名前が浸透していますが、全ての野菜にも品種名があり、味や見た目、値段が異なります。豊かな生活が進むにつれて、品種へのこだわりも、ニーズとしてあがってきています。当団体は野菜の品種育成を手掛けており、品種の違いに「驚きと感動」がある事を知っています。地元（JAさがみ、JA湘南等）だけでなく全国のJA、種苗店との幅広いリレーションを活かして、旬の青果物が並ぶ、野菜市とします。
- 当団体オリジナル品種の生産農家さんが近隣にいる等、野菜を通じて、農家さんとの繋がりや、地元産業を知る機会を提供します。

【ベジチェック】

- ・野菜摂取の充足度が簡単に確認できる「ベジチェック」を設置し、利用者の健康増進およびそのきっかけとなる機会を「見える化」して提供します。

【野菜のUF0キャッチャーの設置】

- ・野菜の自販機や野菜のUF0キャッチャー等、野菜嫌いの子どもに興味を持つ機会を提供します。

【キッチンカーで飲食サービス】

時期・頻度：4月～5月、10月～11月（土日祝）

- 藤沢市の飲食業者と提携しキッチンカーを誘致し飲食サービスを提供します。
- テーブルイス、パラソル等を設置し、「花のプロムナード」等美しい園内の自然環境の中で「食べる」楽しみを提供します。



【当団体オリジナル品種の野菜ジュース】

- ・当団体オリジナル品種（メロン、ニンジン等）を使ったフレッシュ野菜ジュースを提供します。品種による味の違いを感じていただきます。加糖せずとも100%野菜で美味しく、健康にも良いです。



【雑貨及び植物の販売】

【花苗・野菜苗・タネ販売】

場所：パティオ、緑の相談所前公園正面入り口付近

時期・頻度：通年

- 植物園に来園する楽しみの一つとして、旬の花苗や野菜苗等が手に入る環境を提供します。
- 植物の地域性、流行、そしてやはり品種による違いを知る事で、植物と共に暮らす豊かさを得られます。
- 当団体は130年以上続く園芸花卉事業の背景を活かし、花苗、野菜苗に加え園芸資材、インテリア雑貨とのコーディネート販売を行います。



【植物のサブスクリプションサービス】

- ・ご自宅にお迎えする植物を、気軽にレンタルで手に入るサービスを提供します。
- ・根付き植物をご自宅の中にお迎えする事に抵抗を感じる方にとっては、「枯れたらどうしよう」「土の処分はどうしよう」といった悩みがあり、植物との暮らしに踏み出せない方がいます。当団体は、そういった方々に手を差し伸べるサービスを提供したいと、事業化を検討していました。当公園には近接にFujisawaSSTがあり、暮らし方の意識が高い地域性があります。レンタル植物は、回収した植物や雑貨の再販、再利用を行い、命ある植物を出来得る形で大切に活用する仕組みとし、エシカル消費、サステナビリティへの消費者の需要に応えるサービスになると考えています。



【農園運営】

【収穫体験】～植付から収穫まで～

場所：長久保公園 農園 時期・頻度：年1～2回

- ・地域の子ども達とジャガイモやサツマイモ、大根などの植付と収穫体験を行います。
- ・当団体は農園付き公園や管理公園では収穫花壇や協働農園で毎年子ども向けの収穫体験を提供しています。
- ・イモやダイコンの収穫体験は達成感があり、子ども達に人気があります。野菜と親しむ機会、野菜が成長する過程を楽しむ機会を提供します。



【公園 花散歩】

【ユリ花壇の創出】

場所：長久保公園

- ・長久保植物園にユリ花壇をつくります。
- ・ユリは日本固有種であり、明治時代開国当時は日本の輸出品を代表する植物という歴史を持った植物です。当団体は日本のユリを海外へ輸出した会社の一つです。そうした背景を伝えながら、在来のユリのエリアをつくります。



【チューリップ花壇の創出】

場所：長久保公園

- ・チューリップは春を彩る代表的な花で、子どもが植物を育てるきっかけとして良い球根植物です。当団体はチューリップの景観で有名な横浜公園に長年納品業務を務めており、植え方や品種のバリエーションにより、年々チューリップ風景の技術は進んでいます。植物園のチューリップ景観を美しく演出します。



【花散歩】

場所：長久保公園

- ・長久保植物園に咲く四季折々の花木を案内します。
- ・当公園は、バラやボタンなど四季折々に花壇を彩る草花や花木が多く存在します。毎日公園を管理するスタッフや花壇アドバイザーが旬のお花を案内します。公園にはハーブ園や畑も併設されており、聴いて、見て、触って、匂い、味覚で楽しむ五感を刺激する花散歩を行います。



【ハーブやお花の摘み取り体験】

場所：長久保公園

時期・頻度：年1～2回

- ・栽培したフレッシュな旬のハーブや、花壇の植え替え時にお花の摘み取り体験を行います。
- ・摘み取り体験は無料で行い、摘み取ったお花は配布し、まだまだ楽しめる花を無駄にせず、花材のロスを減らし、来園者の楽しみに繋がります。
- ・春にはチューリップ、夏にはヒマワリ、秋にはコスモスなど、お花を摘み取りながら季節のイベントとして楽しんでいただきます。





【バラ園の改修・管理】

場所：長久保公園

- 当団体は横浜市花であるバラの管理経験が豊富です。バラだけでなく、宿根草も一緒に植えこむガーデンの設計、管理、育成のノウハウがあります。この事を活かして、当公園のバラの環境も課題を改善・改修していきます。
- 当公園のバラ園は、車で来た人以外分かりづらい、下草がなく魅力に欠けている、といったアンケート評価が出ています。既存の品種の由来、状態をみて、魅力ある改修を企画します。
- バラ園の存在を目立たせるような環境整備、案内に努めます。
- バラのお手入れに興味がある方と一緒に管理していきます。



新設した看板（実績）



改修したバラ園 before/after（実績）

【ビオトープキットの販売】

場所：長久保公園

- チョウの種類によって好むお花が違います。呼びたいチョウ別の吸蜜植物など、自宅で手軽に始められるビオトープキットを販売します。
- 人気があるのは、渡り蝶のアサギマダラで、関東に飛来する秋頃に咲くフジバカマが吸蜜植物として有名です。



挿し木で増やしている

フジバカマ



アサギマダラを呼ぶ取組

【造園の魅力】

【ツリークライミング教室】

場所：長久保公園

時期・頻度：年1回

- ツリークライミングジャパンと協働し、開催します。
- ロープ技術によるツリークライミング体験会を開催。大人も子供も気軽に楽しめ、木、森、自然との一体感を味わう体験です。木と友達になり、自然を大切に思う心を育てます。木の上から素晴らしい世界を分かち合います。



【記念樹配布】

場所：長久保公園

- 公園由来の植物などで、ご自宅のお庭に植えるのに相応しい樹種を育て、市民の記念日（出生・結婚・新築）に苗木を差し上げます。冬に鳥を呼べる等、生物多様性の繋がりを感じるストーリーを添えて、配布します。



■公園管理、植物管理、作業性向上に向けた必要な措置

再委託業務の考え方

公園管理運営には多岐に渡る業務があり、利用者の安全安心を確保するため、また、効果的かつ効率よく業務を遂行するため、専門業者の協力を得ます。

地域経済の活性化の観点から、できる限り藤沢市内業者を採用し、藤沢市のために責任・熱意をもって業務を実施できる企業に委託をお願いします。